

自然農法は観察が基本

平成24年度は全国9会場で自然農法技術交流会を開催しました。前回の自然農法67号で四国、中部、東北の3会場のレポートをお届けしましたが、今回は12月に行われた九州、関東会場についてレポートをお届けします。自然農法技術交流会にたくさんのご参加をいただきありがとうございます。

九州会場

去る12月8日熊本県球磨郡錦町の犬童^{いんどう}幸和氏の圃場を視察会場に自然農法技術交流会九州会場を開催しました。参加者は31名で熊本県、宮崎県の方に多くご参加いただきました。

犬童氏はハウスでトマトの有機栽培を行うほか、地元スーパーを通じて各種野菜を販売している専業農家です。錦町役場に集合した参加者は犬童氏のハウスに移動し、ハウスの

トマト栽培を視察しました。犬童氏の説明を聞き、有機栽培でこれだけ広い面積でりっぱなトマトが栽培できているのはすばらしいといった声がありました。午後は、犬童氏の補足説明と自然農法センターから自然農法畑作栽培についての話があり、意見交換を行い閉会しました。

関東会場

本年度最後の開催となる関東会場は2012年12月12日に神奈川県小田原市にある小田原アリーナを研修会場に、小田原市内で新規就農で10年実施している「なんくる農園」を視察会場に開催しました。

なんくる農園の園主である松本氏はご自身の体調不良を通して自然農法を志し、昨年新規就農10年目を迎えました。野菜セットの宅配を主にしており、緑肥草生栽培による少量

多品目栽培を基本にしています。

参加者は36名で、地元神奈川の方に多くのご参加をいただきました。当日は富士山がきれいな冬晴れで、皆さん気持ちよく圃場を視察していただきました。

小田原アリーナに集合した参加者はバスでなんくる農園へ移動し、松本さんの緑肥を活用した土づくり、少量多品目栽培についての説明を受けました。お昼は松本さんの栽培した野菜を使ったこだわりの弁当をいただき、午後の研修は松本さんから新規就農のきっかけとこれまでの土づくりの変遷についての補足説明がありました。その後、自然農法センターから自然農法畑作栽培の基本技術について、松本さんの事例を題材に緑肥草生栽培と土づくりについてお伝えしました。参加者からは、松本さんの草生栽培の畑と自然農法



管理の行き届いた犬童氏のトマト

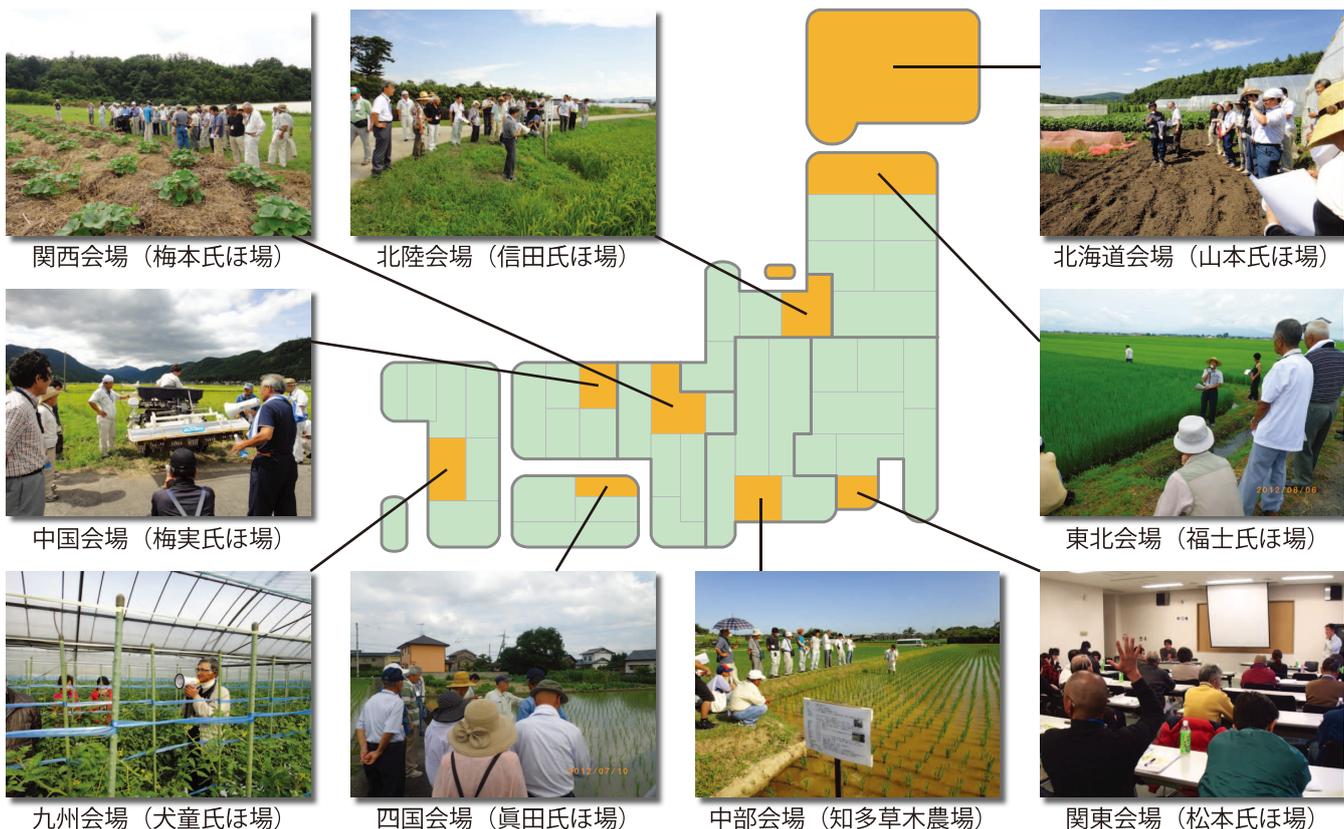


松本氏の野菜を使ったこだわり弁当

の基本である観察についての話が印象に残ったという声をいただきました。

まとめ

自然農法技術交流会は、自然農法実施圃場（実証圃場）の見学や実践報告、技術解説を通して、自然農法の基礎的な情報と地域における自然



多数のご参加ありがとうございました

2012年自然農法技術交流会テーマ・参加者数一覧

会場名	開催日	テーマ	参加者数
北海道	8/21	自然農法における種子のもつ意味について	27名
東北	8/6	自然農法の水稲、畑作栽培の基本技術について	31名
関東	12/12	自然農法の水稲栽培の基本技術について	36名
中部	7/17	自然農法の水稲・畑作栽培の基本技術とその応用について	90名
北陸	8/25	自然農法の水稲栽培の基本技術と雑草対策について	29名
関西	8/30	自然農法の水稲栽培の基本と土づくりについて	63名
中国	8/28	自然農法の水稲栽培の基本技術について	26名
四国	7/10	自然農法の水稲、畑作栽培の基本技術について	98名
九州	12/8	自然農法の水稲栽培について	31名
合計			431名

農法技術を提供することを目的として開催しています。
9会場の農家はそれぞれの地域の特徴に応じた異なる技術で成果を上げられています。皆さんに共通している事は、自然観察を通して、作物

の声、土の声を聞きながら、それぞれの栽培体系を培ってきた事だと思います。交流会の中では個々の技術にとらわれすぎず、自然農法の基本である観察を大切にしていけることをお伝えしました。

平成25年度も全国10会場で交流会を行う予定です。詳細はホームページ等で案内しますので、個人参加はもとより、知り合いの農家をお誘いの上、たくさんの方にご参加いただけることを期待しています。

なお、技術交流会開催の案内を希望される方は、左記要領にて、技術普及課までご連絡下さい。

(技術普及課 石河 信吾)

メールでの案内をご希望の方	当センターHP (http://www.infrc.or.jp/) 右上の「お問い合わせ」→「その他のお問い合わせ」から、必要事項をご記入の上、件名・お問い合わせ内容欄に「技術講習会案内希望」とお書き下さい。
FAX、郵送での案内をご希望の方	「自然農法技術交流会案内希望」とお書き添えの上、連絡先をご記入いただき、下記宛先までお送り下さい。 〒470-2211 愛知県知多郡阿久比町草木峯畑 75 FAX 0569-89-7642 (公財) 自然農法国際研究開発センター 普及部 技術普及課 宛